

産業廃棄物処理計画書

令和 7 年 5 月 29 日

福岡県知事 殿

提出者

住所 <都道府県名>福岡県筑後市
熊野 1 7 1 7 - 1

氏名 ヤンマー建機株式会社
代表取締役社長 工藤 龍

電話番号 0942-53-5111

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	ヤンマー建機株式会社
事業場の所在地	<都道府県名>福岡県筑後市熊野 1 7 1 7 - 1
計画期間	令和7年4月1日 から 令和8年3月31日まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	E. 製造業		
② 事業の規模	資本金 9,000 万円 出荷額実績 480 億円		
③ 従業員数	865 名		
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	発生源	廃棄物	処理 処分
	製造工程	木くず ガラス・コンクリート 廃プラスチック 汚泥 廃油	粉砕 = 消却 燃え殻 = 埋立 粉砕 = 管理型埋立 圧縮 選別 = 燃料材料 油水分離 焼却 焼成 乾燥 = 再資源化 油水分離 調質 = 再資源化

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図) 別紙 ヤンマー建機(株) 環境管理委員会体制図参照

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】 別表一 1 参照ください		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃酸
	排出量	341 t	59 t
	産業廃棄物の種類	木くず	廃油
	排出量	52 t	46 t
	産業廃棄物の種類	金属くず	ガラスくず等
	排出量	1 t	2 t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	管理型混合廃棄物
	排出量	583 t	5 t
	産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	
	排出量	0 t	t
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
(これまでに実施した取組)			

②計画	【目標】 令和6年実績の10パーセント以上減		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃酸
	排出量	310 t	t
	産業廃棄物の種類	木くず	廃油
	排出量	47 t	42 t
	産業廃棄物の種類	金属くず	ガラスくず等
	排出量	1 t	2 t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	管理型混合廃棄物
	排出量	531 t	t
	産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	
	排出量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
(今後実施する予定の取組)			
<ul style="list-style-type: none"> 産業廃棄物から有価物へのさらなる推進 廃木材の低減 木材によるパレットの見直し 塗装工程から排出される廃酸の処理方法の見直し 塗装工程からの異常廃液を排出しない 			

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	<p>(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> 再利用できるビニール類と油で汚れたビニール類の分別。 再利用できる金属とプラスチック付き金属の分別 有価物化できるプラスチックの分別 電子基板の分別
-----	---

②計画	<p>(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> 上記分別の徹底と混入防止
-----	---

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和 6 年度）実績】				
①現状	産業廃棄物の種類	汚泥	廃酸	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	
	産業廃棄物の種類	木くず	廃油	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	
	産業廃棄物の種類	金属くず	ガラスくず等	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	管理型混合廃棄物	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	
	産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	
	産業廃棄物の種類			
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	
	(これまでに実施した取組) 特になし			
	【目標】			
②計画	産業廃棄物の種類	汚泥	廃酸	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	
	産業廃棄物の種類	木くず	廃油	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	
	産業廃棄物の種類	金属くず	ガラスくず等	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	管理型混合廃棄物	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	
	産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	
	産業廃棄物の種類			
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	
	(今後実施する予定の取組) 特になし			

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和 6 年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃酸
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
産業廃棄物の種類	木くず	廃油
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
産業廃棄物の種類	金属くず	ガラスくず等
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	管理型混合廃棄物
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
産業廃棄物の種類		
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t

(これまでに実施した取組)
特になし

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃酸
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
産業廃棄物の種類	木くず	廃油
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
産業廃棄物の種類	金属くず	ガラスくず等
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	管理型混合廃棄物
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
産業廃棄物の種類		
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t

(今後実施する予定の取組)
特になし

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（ 6年度）実績】			
①現状	産業廃棄物の種類	汚泥	廃酸
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	木くず	廃油
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	金属くず	ガラスくず等
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	管理型混合廃棄物
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組) 特になし			
【目標】			
②計画	産業廃棄物の種類	汚泥	廃酸
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	木くず	廃油
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	金属くず	ガラスくず等
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	管理型混合廃棄物
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組) 特になし			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項 1枚目 (1品目目から4品目目)

①現状

【前年度 (6年度) 実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃酸
全 処 理 委 託 量	341 t	59 t
優良認定処理業者への 処理委託量	341 t	59 t
再生利用業者への 処理委託量	341 t	59 t
認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
産業廃棄物の種類	木くず	廃油
全 処 理 委 託 量	52 t	46 t
優良認定処理業者への 処理委託量	t	5 t
再生利用業者への 処理委託量	t	t
認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処理委託量	52 t	46 t

(これまでに実施した取組)

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	別紙-1	廃酸
全 処 理 委 託 量	1,055 t	t
優良認定処理業者への 処理委託量	946 t	t
再生利用業者への 処理委託量	939 t	t
認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処理委託量	110 t	t
産業廃棄物の種類	木くず	廃油
全 処 理 委 託 量	t	t
優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
再生利用業者への 処理委託量	t	t
認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t

(今後実施する予定の取組)

産業廃棄物の処理の委託に関する事項 2枚目 (5品目目から8品目目)

①現状

【前年度 (6年度) 実績】

産業廃棄物の種類	金属くず	ガラスくず等
全 処 理 委 託 量	1 t	2 t
優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	2 t
再生利用業者への 処 理 委 託 量	1 t	0 t
認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	管理型混合廃棄物
全 処 理 委 託 量	583 t	5 t
優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	558 t	t
再生利用業者への 処 理 委 託 量	558 t	t
認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t

(これまでに実施した取組)

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	金属くず	ガラスくず等
全 処 理 委 託 量	t	t
優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	管理型混合廃棄物
全 処 理 委 託 量	t	t
優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t

(今後実施する予定の取組)

産業廃棄物の処理の委託に関する事項 3枚目 (9品目目から12品目目)

①現状

【前年度 (6年度) 実績】

産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	
全 処 理 委 託 量	0	t
優良認定処理業者への委託量	t	t
再生利用業者への委託量	t	t
認定熱回収業者への委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への委託量	t	t
産 業 廃 棄 物 の 種 類		
全 処 理 委 託 量	t	t
優良認定処理業者への委託量	t	t
再生利用業者への委託量	t	t
認定熱回収業者への委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への委託量	t	t

(これまでに実施した取組)

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	
全 処 理 委 託 量	t	t
優良認定処理業者への委託量	t	t
再生利用業者への委託量	t	t
認定熱回収業者への委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への委託量	t	t
産 業 廃 棄 物 の 種 類		
全 処 理 委 託 量	t	t
優良認定処理業者への委託量	t	t
再生利用業者への委託量	t	t
認定熱回収業者への委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への委託量	t	t

(今後実施する予定の取組)